



# 子どもの未来 を考える

## ～ その子らしさを伸ばせる療育を ～

児童発達支援や放課後デイサービスなどの事業所で行われる療育と合わせて、家庭でも子どもの発達をサポートする療育を子育てに取り入れたい。たとえば片付けをさせる際にも「キレイにしてね」ではなく、具体的なやり方を教えてあげることが大切。

発達障害のひとつであるADHD(注意欠陥・多動性障害)は、授業中はじっとしていません。社会ルールが求められる小学校入学前後に発見されることが多い。「でも、それは現代の社会の仕組みがそれを求めているだけで、狩りをする時代だったら45分じっと座っている子どもよりも多くの獲物を獲得することができます。むしろ、いわずに定型発達とは違う発達の仕事をしているだけ、それ自体が問題ではないのですが、その違いがあるがために、今の社会では生活しづらいものがある。それに対してサポートをするというのが支援(療育)の考え方なんです」と山崎先生。

### 山崎先生から支援者の皆さんへ

- 親御さんも子ども自身も自分がなにを求めているのか、どうして行きたいのかははっきり気づいている方はなかなか居ない。そういった部分を行動や、これまでの経緯を見ながら把握する力が必要になる。
- 「その言葉の裏側にあるものは何だろう」
- 「その行動の裏側にある思いは何だろう」ということを推測する力をもっていたきたいと思います。

取材協力  
学校法人 薫英学園  
大阪人間科学大学  
摂津市正雀1-4-1  
☎06-6381-3000(代)  
http://www.ohs.ac.jp/



過去から未来へ長きにわたって見る発達障害のひとつであるADHD(注意欠陥・多動性障害)は、授業中はじっとしていません。社会ルールが求められる小学校入学前後に発見されることが多い。「でも、それは現代の社会の仕組みがそれを求めているだけで、狩りをする時代だったら45分じっと座っている子どもよりも多くの獲物を獲得することができます。むしろ、いわずに定型発達とは違う発達の仕事をしているだけ、それ自体が問題ではないのですが、その違いがあるがために、今の社会では生活しづらいものがある。それに対してサポートをするというのが支援(療育)の考え方なんです」と山崎先生。

「でも、それは現代の社会の仕組みがそれを求めているだけで、狩りをする時代だったら45分じっと座っている子どもよりも多くの獲物を獲得することができます。むしろ、いわずに定型発達とは違う発達の仕事をしているだけ、それ自体が問題ではないのですが、その違いがあるがために、今の社会では生活しづらいものがある。それに対してサポートをするというのが支援(療育)の考え方なんです」と山崎先生。

「あなたにはあなたのままでいいんだよ」と、まずはお父さん、お母さんが、自信を持ってほしいですね。

発達障害のひとつであるADHD(注意欠陥・多動性障害)は、授業中はじっとしていません。社会ルールが求められる小学校入学前後に発見されることが多い。「でも、それは現代の社会の仕組みがそれを求めているだけで、狩りをする時代だったら45分じっと座っている子どもよりも多くの獲物を獲得することができます。むしろ、いわずに定型発達とは違う発達の仕事をしているだけ、それ自体が問題ではないのですが、その違いがあるがために、今の社会では生活しづらいものがある。それに対してサポートをするというのが支援(療育)の考え方なんです」と山崎先生。

「あなたにはあなたのままでいいんだよ」と、まずはお父さん、お母さんが、自信を持ってほしいですね。

「あなたにはあなたのままでいいんだよ」と、まずはお父さん、お母さんが、自信を持ってほしいですね。

乳幼児期に言葉の遅れ等で気づくことの多い発達障害。生まれもった脳の特徴で、コミュニケーションや人間関係がうまくいかないために、幼稚園や小学校など集団生活の場で生きづらさを感じてしまう場合も。そんな子どもたちの療育を行うのが児童発達支援事業所や放課後等デイサービスだ。臨床心理の専門家である大阪人間科学大学の山崎先生にお話を聞いた。

**Interview**  
大阪人間科学大学  
人間科学部  
医療心理学科  
臨床発達心理専攻  
講師  
山崎康一郎先生  
大学卒業後、9年間知的障害者施設に勤務。並行して大学院に通い、臨床心理士の資格を取得。現在は同大学で臨床発達心理関連の講義を行っている。社会福祉士、保育士の資格も持つ。



幼稚園教諭や保育士の資格を持つスタッフがリーダーに、臨床心理士など専門家も交え、個々の課題に合わせてじっくりサポート。



遊びや学習(就学向け)など目的ごとにスペースが分けられている。運動は広い遊戯室で行うが、未就学児は近隣の公園へも遊びに行くことも。

児童発達支援  
放課後等デイサービス  
保育所等訪問支援  
とことこ  
摂津市千里丘7-10-24  
アメニティブワ205  
営/児童発達 9時半～15時半  
放課後等 15時半～18時半  
日祝定休  
☎06-6155-4448

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

**見学会・1日体験**  
定員10名までで過ごす集団療育とマンツーマンで行う個別療育があります。園に通いながら個別療育を利用するお子さんもいらっしゃいます。まずは一度、見学会にお越しください。(要予約)

**【保育所等訪問支援】**  
訪問スタッフが学校園へ訪問し、情報共有や先生へのアドバイスなどを通じて一貫した支援体制を目指します。

**【放課後等デイサービス】**  
●小集団療育  
学習支援、コミュニケーションの練習、集団遊びの練習などを行う。  
●個別の療育  
コミュニケーションの練習、学習支援、運筆練習等  
●SSTプログラム  
●保護者会(隔月)

**【児童発達支援(未就学児)】**  
●小集団療育  
日常生活動作の練習(食事・お着替え・排泄)、運動サーキット、ダンス、製作、お絵描き、粘土、絵本、歌、言葉の練習、手先の使い方  
●個別の療育  
手先の使い方、体の使い方、言葉の練習等、お子さんの個性や特徴に応じたプログラム  
●土日特別プログラム

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

「言葉の遅れが気になる」「お友達と上手くコミュニケーションがとれない」など、発達に不安を抱える子どもたちのために、「児童発達支援(2歳～6歳)」と「放課後等デイサービス(小学生・高校生)」、「保育所等訪問支援」を提供している「とことこ」。個別療育はもちろん、集団療育でも子ども1～2人につき1人のスタッフが配置されており、一人ひとりの課題に合わせて療育が行われている。とことこのいちばんの特徴は、途切れることのない支援。「園、小学校、中学校とステップが変わるごとに支援

**【児童発達支援(未就学児)】**  
●小集団療育  
日常生活動作の練習(食事・お着替え・排泄)、運動サーキット、ダンス、製作、お絵描き、粘土、絵本、歌、言葉の練習、手先の使い方  
●個別の療育  
手先の使い方、体の使い方、言葉の練習等、お子さんの個性や特徴に応じたプログラム  
●土日特別プログラム

**Pick Up**  
2歳～18歳  
児童発達支援(集団/個別)・放課後等デイサービス(集団/個別) 保育所等訪問支援

児童福祉法の改正後、発達遅れが目に見えにくく、いわゆるグレーゾーンとされてきた子どもたちの利用や相談が増えているという。親も自分の子どもとう向き合えはいいのかわからないという不安を抱えており、親子でサポートを受けられる場のニーズが増えている。発達に不安を抱える親子を支援する通所支援事業所「とことこ」の鳥井崇行さんにお話をうかがった。

児童福祉法の改正後、発達遅れが目に見えにくく、いわゆるグレーゾーンとされてきた子どもたちの利用や相談が増えているという。親も自分の子どもとう向き合えはいいのかわからないという不安を抱えており、親子でサポートを受けられる場のニーズが増えている。発達に不安を抱える親子を支援する通所支援事業所「とことこ」の鳥井崇行さんにお話をうかがった。

児童福祉法の改正後、発達遅れが目に見えにくく、いわゆるグレーゾーンとされてきた子どもたちの利用や相談が増えているという。親も自分の子どもとう向き合えはいいのかわからないという不安を抱えており、親子でサポートを受けられる場のニーズが増えている。発達に不安を抱える親子を支援する通所支援事業所「とことこ」の鳥井崇行さんにお話をうかがった。

児童福祉法の改正後、発達遅れが目に見えにくく、いわゆるグレーゾーンとされてきた子どもたちの利用や相談が増えているという。親も自分の子どもとう向き合えはいいのかわからないという不安を抱えており、親子でサポートを受けられる場のニーズが増えている。発達に不安を抱える親子を支援する通所支援事業所「とことこ」の鳥井崇行さんにお話をうかがった。

この方に伺いました / NPO法人Viewがらす 通所支援事業所「とことこ」代表  
鳥井崇行 さん  
教育センター等での相談員、訪問カウンセラーなどを経て、2014年にNPO法人Viewがらすを設立し「とことこ」をオープン。児童発達支援・放課後等デイサービス事業を行う。